

# 社会福祉法人愛生会

## 令和4年度事業報告書

1. 本部拠点（八千代市吉橋 1059-17）
  - ①社会福祉法人愛生会
  - ②特別養護老人ホーム愛生苑・ショートステイ愛生苑
  - ③在宅介護支援センター愛生苑
  - ④ケアハウスガーデンライフ八千代
2. かがやき拠点（八千代市大和田新田 346-1）
  - ①愛生苑デイサービスかがやき
3. なごみ拠点（八千代市緑が丘 2-17-1）
  - ①グループホームなごみ
  - ②小規模多機能居宅介護なごみ
4. 村上地域拠点（八千代市村上 1113-1 村上団地 2-7-104）
  - ①八千代市村上地域包括支援センター

## 令和4年度 社会福祉法人愛生会の事業報告

### はじめに（総括）

令和4年度も新型コロナウイルスの対応が行動の中心となる1年となりました。入念な感染症対策は引き続き講じておりましたが、いわゆる第八波のさなかに特別養護老人ホーム愛生苑で2回、ケアハウスガーデンライフ八千代およびグループホームなごみで各1回新型コロナウイルスによる集団感染が発生してしまいました。ご利用者様およびご家族様、地域の事業所様にご迷惑をおかけしてしまったことを改めてお詫び致します。

職員も新型コロナウイルスの罹患者が昨年度以上に発生しましたが、職員配置に大きな影響が出る程ではなく、また、職員の皆様一人ひとりが奮闘して頑張っていたいただいた結果、第八波を乗り切ることができました。しかしながら、利用率・稼働率の低下、膨大な物品購入等により財務面に大きなマイナスの影響が出てしまいました。

令和5年度に入り、世間においても感染状況が落ち着いた様子に見受けられますが、決して油断することなく、高齢者福祉事業に携わる立場として引き続き安全確保のための徹底した対策を講じつつ、ご利用者様やご家族様へのご不便を最小限にして、行政や医療機関と緊密な連携を図りながら、安全安心の体制を構築して参ります。

令和5年度は引き続き世界情勢が不安定な様相を呈しており、特に物価高騰に対して非常に大きな懸念を抱いております。令和4年度の電気代は前年度の1.5倍ほどの額となっており、更に値上がりするのではないかという心配があります。また、食材料費についても給食委託事業者から値上げ要請があり、各種消耗品も令和5年からの値上げ案内が次々と届いております。

大きな影響が出ることは避けられないですが、その影響を吸収する事業運営が求められており、社会福祉法人としての役割や使命を全うするために取り組んで参ります。

# 令和4年度 特別養護老人ホーム愛生苑・ショートステイ愛生苑の事業報告

## 1. 特別養護老人ホーム愛生苑

### (1) 令和4年度 月別入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	0名	2名	1名	0名	1名	0名	1名	1名	1名	0名	1名	3名
退所	0名	1名	2名	2名	0名	0名	0名	2名	1名	2名	3名	3名

新規入所 合計 11名（経緯：在宅 6名、他施設 5名、病院 0名）

退 所 合計 16名（苑内にて 3名、病院にて 7名、長期入院 6名）

### (2) 令和4年度 月末入所者数の推移（定員 64床）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	延べ人数
4月	0名	1名	11名	28名	19名	59名	1,741名
5月	0名	1名	12名	27名	20名	60名	1,848名
6月	0名	1名	13名	26名	18名	58名	1,781名
7月	0名	1名	12名	28名	18名	59名	1,817名
8月	0名	1名	12名	29名	18名	60名	1,832名
9月	0名	1名	13名	28名	17名	59名	1,776名
10月	0名	1名	13名	30名	18名	62名	1,886名
11月	0名	1名	11名	28名	15名	55名	1,752名
12月	0名	1名	11名	27名	14名	53名	1,703名
1月	0名	1名	12名	25名	12名	50名	1,539名
2月	0名	1名	11名	27名	13名	52名	1,424名
3月	0名	1名	12名	26名	15名	54名	1,634名
合計	0名	12名	143名	329名	197名	681名	20,733名

### (3) 年齢構成 ※令和4年度末月集計より

年齢階層	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳～
男女合計	0名	9名	22名	23名	0名

### (4) 令和4年年度年間の男女平均年齢、最高年齢

男性平均年齢	84.6歳	最高年齢	97歳
女性平均年齢	88.2歳	最高年齢	100歳
男女平均年齢	87.5歳		

## (5) 平均介護度

・男性平均介護度 3.9 ・女性平均介護度 4.1 ・男女合計平均介護度 4.1

## (6) 令和4年度 年間行事活動報告

	装 飾	行事・外出	月間レクリエーション
4月	さくら	カラオケ (少人数)	レクリエーション (ドリル、塗り絵、動画等以下同様)
5月	鯉のぼり	職員コロナ感染者発生にて中止	お楽しみ入浴
6月		ソフトクリーム屋さん カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション
7月	七夕飾り	カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション
8月	夏の装飾	カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション
9月		敬老祝い、ソフトクリーム屋さん カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション
10月	紅葉	カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション
11月	冬の装飾	カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション
12月	クリスマス	コロナ感染クラスターにて中止	
1月	正月飾り	コロナ感染クラスターにて中止	
2月	節分	カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション
3月	ひな人形	お花見ドライブ、散歩 カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴 レクリエーション

集団でのレクリエーション活動は行わず、前年同様3密回避で数名単位でのレクリエーション活動を中心に実施しました。行事は計画していましたが、施設内クラスターの発生や職員のコロナ感染もあり、感染予防対策の為やむを得ず中止とするイベントも発生しました。また外出行事も市内や県内の感染状況に左右され中止する機会もあり、装飾に力を入れ季節を感じて頂けるように対応し、個別に行う余暇などへ切り替えた状況です。

面会については感染対策の中で、ご家族の協力のもと制限はあるものの、対面式で直接会う機会をつくり、行事や余暇活動ができない分を補う結果となりました。

## 2. ショートステイ愛生苑

### (1) 令和4年度 月別利用者数の推移

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	実人数	延べ人数
4月	30名	0名	77名	141名	108名	46名	24名	402名
5月	31名	0名	51名	159名	135名	43名	24名	419名
6月	14名	0名	50名	107名	137名	47名	27名	355名
7月	0名	2名	58名	100名	170名	61名	24名	391名
8月	2名	13名	53名	99名	164名	64名	29名	395名
9月	5名	1名	45名	130名	160名	53名	30名	394名
10月	4名	3名	50名	137名	159名	58名	29名	411名
11月	4名	5名	48名	110名	173名	53名	26名	393名
12月	2名	4名	50名	101名	190名	22名	25名	369名
1月	4名	4名	59名	95名	194名	26名	23名	382名
2月	4名	25名	55名	109名	169名	37名	29名	399名
3月	0名	43名	65名	85名	162名	58名	27名	413名
合計	100名	100名	661名	1,373名	1,921名	568名	317名	4,723名
割合	2.1%	2.1%	14.0%	29.1%	40.7%	12.0%	—	—

### (2) 利用状況

- ①令和4年度新規利用者数 13名（全て八千代市在住の方）  
 ②地区別利用実績 八千代市、習志野市

### (3) 年齢構成

- ①令和4年度末月集計より

	～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳～
男性	0名	1名	5名	1名	0名	0名
女性	0名	0名	1名	11名	8名	0名

### (4) 令和4年度年間男女平均年齢、最高年齢

男性平均年齢	77.2歳	最高年齢	95歳
女性平均年齢	86.9歳	最高年齢	98歳
男女平均年齢	83.0歳		

## (5) 平均介護度

- ・ 男性平均介護度～3.2
- ・ 女性平均介護度～3.5
- ・ 男女平均介護度～3.4

## 3. 各課業務、活動報告

### (1) 生活相談課

#### ①業務報告

入退所業務	月次業務	行政との連絡調整	地域連携、その他
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 入所相談</li><li>・ 入所申込者管理</li><li>・ 入所検討</li><li>・ 事前面接、調整</li><li>・ 契約書作成、説明</li><li>・ 入退所手続書類作成</li><li>・ 貴重品管理、返還手続</li><li>・ 契約解除手続</li><li>・ 行政報告書類作成</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 相談業務</li><li>・ 利用者生活状況確認</li><li>・ ご家族対応、連絡</li><li>・ カンファレンス</li><li>・ 近況報告、書類作成</li><li>・ 入退院連絡調整</li><li>・ 苑内外の行事調整</li><li>・ 介護保険請求業務</li><li>・ 病院受診、救急対応</li><li>・ 各会議への参加</li><li>・ 送迎業務</li><li>・ 事業所間連絡、調整</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 入退所状況報告及び書類作成</li><li>・ 介護保険申請</li><li>・ 認定調査調整</li><li>・ 行政手続き代行</li><li>・ 各種報告書作成</li><li>・ 不在者投票事務</li><li>・ 生活保護受給者の連絡調整及び書類作成</li><li>・ コロナ感染予防対策</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 施設見学、説明</li><li>・ 職場体験学習受入</li><li>・ 実習生受入れ</li><li>・ 外部業者との調整</li><li>・ 近隣との関わり調整</li><li>・ 介護相談員巡回調整</li></ul>

#### ②部門計画の報告

＝特別養護老人ホーム愛生苑＝

##### 1. コロナ禍における入所事業継続

クラスターが続けて発生したことで、施設内における感染症対策が最優先となり、外部からの新規受け入れが滞る状況が続きました。クラスターにより長期入院者や施設退所者も急増する状況でしたが、新規入所サイクルが不安定なため、利用実績にも多大な影響を与えました。

感染症や他事業所による影響を回避しながら、柔軟な入所受け入れ体制を構築するため、入所手順の見直しや遅滞なく入所できる環境づくりが課題となりました。

##### 2. コロナ禍においての利用者の QOL 維持

感染症対策を継続した結果、利用者生活においても制限のある生活スタイルを継続することとなりましたが、利用者や家族、その他各種関係機関とは間接的ながら連携が維持出来たことで、必要なサービス提供に繋げることが出来ました。

感染予防対策が長期化する中では、利用者把握や適切なサービス提供のためのアセスメント方法の見直しや、それに伴うサービス内容や生活の質の維持・向上、利用者の心身機能維持が継続課題となりました。

＝ショートステイ愛生苑＝

・利用率の向上と利用満足

令和4年度、施設内クラスターが2度発生したことで、併設施設として利用中止依頼や限定フロアによる利用によって、利用率にも多大な影響が出る結果となりました。コロナ禍においては、利用者家族や関係事業所とも直接的な関わりが減り、情報共有や連携にも影響が出たことでは、利用率にも繋がる結果となりました。

コロナ禍での利用者個別サービスの充実や利用満足度の維持・向上、ケアマネージャーや利用者家族との迅速な情報共有や連携相談が引き続き課題となりました。

## (2) 介護サービス課

### ①部門計画の報告

#### 1. 職員の募集と定着

職員の配置換えを行い環境の変化を期待しましたが、今までの風習を変える事は難しく、これからは定期的に全体会議を開催し交流の場を作り、連携面の強化を図る課題が新たに増えました。1階フロアを2名体制にすることで職員負担軽減を目指しましたが、常時2名を配置する事は人員確保面で難しい状況がありましたが残業時間削減という目標は達成できました。業務の見直しを定期的に主任会議で検討し対応できましたが、一部の業務の負担が大きくなりすぎた事で不満の声が上がる結果もありました。引き続き業務の均等化と負担軽減の為の取り組みを続けて行きます。

#### 2. 教育

新規採用職員が増え、業務習得を優先的に指導した対策をとりました。結果、早期に業務独り立ちへと繋がり、残業時間は前年度よりも減少傾向となりました。介護の経験年数が少ない職員が多いので、感染症対応だけでなく「急変時の対応」「褥瘡予防への取り組み」「介護技術・知識の向上」を目標に研修・勉強会の機会を設ける事で職員の成長に繋げる取り組みをしています。研修機会は前年度よりも多く作る事ができましたが、勉強会は職員のコロナ感染や12月、1月は初めてのクラスターが相次ぎ発生し、中止にせざる負えない状況が続きました。年度末になり状況は落ち着き、褥瘡予防や救急対応の勉強会を小グループに分け開催する事ができ、日々の介護スキルを高める事ができました。

#### 3. レク活動の充実化

年度初めから職員のコロナ感染が定期的に発生し、まん延防止と濃厚接触の懸念からレク活動、行事などは中止することがありました。コロナ禍による日々の業務、感染症対応、慢性的な人員不足、新人教育に時間を要した事は前年度同様で課題が残る結果となりました。次年度は、音楽療法の再開、外出行事、苑内行事とレク委員を増員し「楽しみ溢れる生活環境」を充実させる為の取り組みを開始しました。引き続き施設のガイドラインに則り、必要な感染症対応をしつつ、安全面に配慮したレク活動の活性化に向けた取り組みと実施をしていきます。

## ②委員会の各種活動報告

委員会名	活 動 内 容
生活委員会	<p>排泄担当： 排泄用品の管理と集計、排泄状況の把握・見直し、勉強会開催 排泄一覧表更新、業者間の情報共有</p> <p>入浴担当： 入浴機器の管理（機械浴、チェアー、消毒、ろ過機、メンテナンス） 入浴形態のチェック・入浴一覧表の作成、入浴実施記録確認</p> <p>食事担当： 食品発注と在庫管理、食事用備品の管理（エプロン、コップ、おしぼり、とろみ剤など）、冷蔵庫・食品棚の管理、口腔ケアの備品管理発注（歯ブラシなど）、とろみ剤の管理</p>
レク委員会	<p>コロナ禍における年間行事、レクリエーションの検討と実施、季節ごとのフロア装飾の管理と実施、お楽しみ入浴の実施</p>
リスク委員会	<p>入所時のリスクマネジメント検討、リスクマネジメント会議（事故集計、要因分析、再発予防策協議と内部発信・進捗管理、安全用品の管理、周知）</p>
感染症委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策について 感染状況や施設内対策の周知、消毒衛生の管理、職員健康チェックの確認、BCP協議</li> <li>・通常感染対策について 物品の管理、マニュアルの確認、職員への注意喚起、害虫駆除、掃除用具の管理、勉強会開催など</li> </ul>
褥瘡予防委員会	<p>褥瘡対策、会議の管理（スケール評価、協議、計画書作成、評価）、使用物品（体位変換クッション、エアーマット、耐圧分散マット、座面クッション）の管理、体圧測定・褥瘡予防への職員啓発、勉強会開催など</p>

## ③施設内外研修及び勉強会開催内容

4月	感染症リーダーズ研修、褥瘡勉強会
5月	リーダーズ研修、防災訓練
6月	リーダーズ研修、 感染症研修（ガウンテクニック、消毒方法、手指消毒）
7月	新人オリエーテーション、介護技術研修（基礎編）、リーダーズ研修 高齢者虐待防止研修、安全対策担当者養成管理研修
8月	リスクマネジメント研修・勉強会、認知症の理解とケア研修、高齢者虐待防止研修 安全対策担当者養成管理研修
9月	感染症対応訓練、防災対策研修、サービス事業者協議会研修
10月	防災訓練、福祉施設における防災対策講座
11月	苦情解決研修、食事ケア研修、認知症ケア研修、介護福祉士実習指導者 感染症対策研修（ガウンテクニック、消毒方法、手指消毒、物品準備） 褥瘡、ポジショニング研修



12月	喀痰吸引研修、クラスター発生にて中止
1月	クラスター発生にて中止
2月	栄養ケア研修、新人オリエンテーション、新規採用職員合同研修
3月	褥瘡予防研修勉強会、身体拘束・虐待勉強会、防災訓練、救急対応勉強会 地域事業者情報交換会、育成研修、口腔ケア

4年度も、前年度同様に集団で集まることを避け（3密回避）、少人数制における会議・研修勉強会の実施となりました。主にオンライン研修が中心となりましたが、施設内勉強会は職員のコロナ感染やクラスター発生により、時期により中止や延期、前年同様資料配布にて対応しております。

### （3）医務サービス課

#### ①健康管理活動報告

定期健康診断	年1回（令和4年4月1日～令和5年3月31日実施）
回診	週1回（毎週金曜日 午後実施）
協力病院	新八千代病院
新規入所者	入所前情報提供依頼及び入所後の検診

定期健康診断	胸部レントゲン、頭部CT、心電図、尿検査、血液検査（血清・生化・血糖）
新規入所者	新型コロナウイルスPCR検査 感染症検査、結核、W氏、HBC、HCV、MRSA その他、上記定期健康診断項目

#### 外来受診者延べ人数

専門外来	人数	入院
内科	63名	44名
外科	0名	0名
脳外科	8名	1名
整形外科	32名	2名
精神科	27名	0名
神経内科	7名	0名
形成外科	11名	0名
泌尿器科	2名	0名
眼科	0名	0名
皮膚科	24名	0名

婦 人 科	4 名	0 名
血 液 内 科	0 名	0 名
歯 科	0 名	0 名
合 計	178 名	47 名

受診先：新八千代病院 八千代病院 セコメディック病院 島田台総合病院  
東京女子医大八千代医療センター むらた整形外科クリニック等

その他

訪 問 歯 科（鈴木歯科医院）	延 べ 数 350 名 受診
インフルエンザ予防注射実施	利 用 者 52 名
新型コロナワクチン予防接種実施	4 回目 57 名、5 回目 57 名（ホクコン株対応）

### ②勉強会、委員会等の各種参加報告

委員会参加	会議参加	研修参加	勉強会	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症委員会</li> <li>・虐待防止委員会</li> <li>・入所判定委員会</li> <li>・リスク委員会</li> <li>・褥瘡対策会議</li> <li>・身体拘束廃止委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養部門会議</li> <li>・ケースカンファレンス</li> <li>・給食会議</li> <li>・入所判定会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインにて</li> <li>・虐待防止</li> <li>・拘縮、ポジショニング</li> <li>・感染予防</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入社員研修</li> <li>・感染症と予防策（指導訓練）</li> <li>・スタンダードプリコーション（指導訓練）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調査</li> <li>・終末期家族への説明</li> <li>・病院受診、連絡相談</li> </ul>

### ③部門計画の報告

「集団感染の予防について」

スタンダードプリコーションについて新人職員に対しての研修と、手洗い・ガウン着脱について全職員に対し勉強会・実技訓練チェックを行うなど、集団感染予防に対する取り組みを行いました。しかし、4年度は各フロアで新型コロナウイルス罹患者が発生し、2階・3階ではクラスターが発生しました。協力病院・保健所（県医療調整センター含み）、八千代市救急隊と連携を取り、早期対応に努めましたが入院先がなかなか見つからず対応が遅れるケースもありました。感染実務では多床室が殆どであり個室が少ないことや、ご利用者が認知症により隔離安静が困難な場合があるなどで、ゾーニングに苦慮しましたが、マップや色分けで見える化の工夫、千葉県感染指導看護師さんの視察アドバイスを受け、終息に向けた取組を行いました。初動や指示系統の整理など、今後の改善点を明確にし、次年度に繋げていきます。

令和5年度は新型コロナの5類移行に伴い、面会や行事などの制限緩和の方向となりますが、引き続き集団感染の予防に向けて、定期的な勉強会・研修・訓練を実施していきます。

#### (4) 栄養管理課

##### 昼食時の年間食数状況

	特 養	ショートステイ	ケアハウス	かがやき	小規模 多機能	グループ ホーム	職 員	合 計
4 月	1751	432	349	451	335	531	773	4622
5 月	1847	445	368	467	358	554	704	4752
6 月	1781	350	366	448	374	467	796	4582
7 月	1817	390	384	506	377	527	799	4800
8 月	1832	394	386	467	388	526	757	4750
9 月	1774	390	392	529	270	465	737	4557
10 月	1886	412	407	568	329	524	652	4778
11 月	1746	393	396	547	350	524	666	4622
12 月	1701	368	399	568	318	534	691	4579
1 月	1539	384	446	441	314	498	834	4456
2 月	1372	384	332	471	309	393	622	3883
3 月	1633	412	366	552	377	447	834	4621
合計	20679	4754	4591	6015	4099	5990	8865	55993
月平均	1723.3	396.2	382.6	501.3	341.6	499.2	738.8	4582.8
1 日平均	56.7	13.0	12.6	16.5	11.2	16.4	24.3	150.7

#### 令和4年度 給与栄養目標量

別紙 給与エネルギー目標量設定表より、1,250Kcal、1,450Kcal、1,650Kcal の3つを設定した。

その他の栄養素の算出

たんぱく質 ⇒ カロリーの16% それぞれ、50.0g、58.0g、66.0g

脂 肪 ⇒ カロリーの23% それぞれ、32.0g、37.0g、42.0g

EER	EAR	RDA	AI	UR	DG
推定エネルギー必要量	推定平均必要量	推奨量	目安量	耐容上限量	目標量

65～74 歳からの摂取目安量

	たんぱく質(g)		総脂質(%)	炭水化物(%)	食物繊維(g/日)	カルシウム(mg)			鉄(mg)		
	EAR	RDA	AI	DG	DG	EAR	RDA	UR	EAR	RDA	UR
男性	50.0	60.0	20～30	50～65	20以上	600	750	2,500	6.0	7.5	50
女性	40.0	50.0	20～30	50～66	17以上	550	650	2,500	5.0	6.0	40
	16%		23%	61%							

	ビタミンA (μgRE)			VD	ビタミンB1(mg)		ビタミンB2(mg)		ビタミンC (mg)		食塩相当量(g/日)	
	EAR	RDA	UL	AI	EAR	RDA	EAR	RDA	EAR	RDA	EAR	DG
男性	600	850	2,700	5.5	1.10	1.30	1.20	1.50	80	100	1.5	7.5g未満
女性	500	700	2,700	5.5	0.90	1.10	1.00	1.20	80	100	1.5	6.5g未満

75 歳からの摂取目安量

	たんぱく質(g)		総脂質(%)	炭水化物(%)	食物繊維(g/日)	カルシウム(mg)			鉄(mg)		
	EAR	RDA	AI	DG	DG	EAR	RDA	UR	EAR	RDA	UR
男性	50.0	60.0	20～30	50～65	20以上	600	700	2,500	6.0	7.0	50
女性	40.0	50.0	20～30	50～66	17以上	500	600	2,500	5.0	6.0	40
	16%		23%	61%		女性			女性		

	ビタミンA (μgRE)			VD	ビタミンB1(mg)		ビタミンB2(mg)		ビタミンC (mg)		食塩相当量(g/日)	
	EAR	RDA	UL	AI	EAR	RDA	EAR	RDA	EAR	RDA	EAR	DG
男性	550	800	2,700	5.5	1.00	1.20	1.10	1.30	80	100	1.5	7.5g未満
女性	450	650	2,700	5.5	0.80	0.90	0.90	1.00	80	100	1.5	6.5g未満

※食事摂取基準 2020 年版参照

	推定エネルギー必要量	たんぱく質	脂質	炭水化物	食物繊維	Ca	Fe	VA	VD	VB1	VB2	VC	食塩
	Kcal	g	g	g	g	mg	mg	μg	μgRE	mg	mg	mg	g
常食Ⅰ	1,250	50.0	32.0	190.0	17.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.10	100	8g未満
常食Ⅱ	1,450	58.0	37.0	220.0	17.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.10	100	8g未満
常食Ⅲ	1,650	66.0	42.0	250.0	19.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.10	100	8g未満

「給食状況」

	熱量 k c a l	蛋白質 g	脂 質 g	C a m g	鉄 m g	レチノール 当量 u g	ビ <sup>ト</sup> タ <sup>シ</sup> ン B1	ビ <sup>ト</sup> タ <sup>シ</sup> ン B2	ビ <sup>ト</sup> タ <sup>シ</sup> ン C	繊維 総量 g	食塩 g
4月	1,500	58.4	39.5	607	6.0	926	0.92	0.81	106	20.8	8.9
5月	1,474	57.8	37.6	610	6.0	844	0.90	0.80	100	20.9	8.8
6月	1,482	58.0	38.0	609	6.0	843	0.91	0.81	102	21.1	8.7
7月	1,468	58.0	37.6	600	6.1	958	0.90	0.79	97	21.3	8.8
8月	1,467	57.7	36.8	618	5.8	833	0.91	0.79	104	21.4	8.8
9月	1,462	57.9	36.9	612	5.9	722	0.94	0.80	102	21.6	8.7
10月	1,463	57.9	37.3	619	6.0	900	0.88	0.77	98	21.0	8.5
11月	1,471	58.1	37.8	625	6.1	958	0.85	0.79	95	21.3	8.8
12月	1,477	57.7	38.6	628	6.0	868	0.86	0.77	96	21.4	8.8
1月	1,461	57.4	35.9	605	5.9	857	0.86	0.81	102	20.9	8.7
2月	1,474	58.0	38.3	618	5.8	700	0.93	0.82	98	21.1	8.7
3月	1,480	57.8	37.3	592	6.0	513	0.80	0.67	83	19.9	8.6
平均	1,473	57.9	37.6	612	6.0	827	0.89	0.79	99	21.1	8.7
目標量	1,450	58.0	37.0	600	6.0	650	0.90	1.10	100	17.0	8g未満

ミキサー食等の詳細

	エネルギー Kcal	たんぱく質 g	脂質 g	水分 cc	備 考
ミキサー粥250g	172	2.3	0.3	66	御飯110g、水165cc
ミキサー粥200g	138	1.8	0.2	53	御飯88g、水132cc
ミキサー粥100g	69	0.9	0.1	27	御飯44g、水66cc
全粥250g	163	2.8	0.3	208	
全粥200g	130	2.2	0.2	166	
全粥150g	98	1.7	0.2	125	
全粥100g	65	1.1	0.1	83	
米飯150g	234	3.8	0.5	90	
米飯100g	156	2.5	0.3	60	

## 【行事状況】

月	行 事	内 容
4月	開苑記念日	お弁当（赤飯、天ぶらの盛り合わせ、他） 桜、春のお菓子
5月	こどもの日	抹茶のお菓子
6月	お楽しみおやつ	ソフトクリーム屋さん
7月	土用の丑の日	土用の丑の日、七夕ちらし
8月	暑気払い	お楽しみ菓子
9月	敬老の祝い	お祝い善、ソフトクリーム屋さん
10月	お楽しみおやつ	お饅頭
11月	鮪お楽しみ	マグロ丼、ネギトロ丼（鮪解体ショーを中止し変更）
12月	クリスマス 年越しそば	チキン、ケーキ かき揚げそば
1月	お正月	赤飯、おせち料理、雑煮風汁、正月菓子、甘酒など
2月	うなぎの日	うなぎ
3月	ひなまつり	甘酒、桜餅

### ○部門計画の報告

#### 「栄養ケアマネジメントの実務強化」

年度を通し、栄養ケアマネジメントの強化として、アセスメント（プロセス評価）やカンファレンス、ミールランド、体重変化の推移、食事形態別の提供カロリー、摂取量、疾病と多職種共同における展開と管理栄養士での専門分野と分けて取り組んできました。進めていく過程において、プロセス評価において提供カロリーや栄養素の課題が浮かび厨房委託との相談内容が多くなりました。結果としては低栄養状態のリスクでは中、低リスクの方が大半を占め、年齢や疾病によりアルブミン値や体重減少率の改善や維持が次年度も引き続き改善を図るものとなりますが、年度内に管理栄養士を1名増員し、マネジメント体制の強化が更に整う傾向となっております。

また、新型コロナウイルス感染症における、クラスターが発生し少数ですが食事が摂れず、栄養補助食品を活用し足りない栄養素を補うことやBCPにおける栄養管理、必要な物品の在庫管理も栄養課の強みを活かし、食における健康保持に取り組んでいきます。

# 令和4年度 在宅介護支援センター愛生苑 事業報告書

## 1. 部門計画・取り組みの評価

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの地域の感染状況に合わせた感染拡大予防の臨時的対応を実施しました。行動制限がある中、状況に応じて適切なケアマネジメントとは何かを適時共有しながら一丸となってコンプライアンス重視に努めました。次年度は新型コロナウイルスの臨時的対応が解除されることを想定して、状況に合わせた業務管理、業務の効率化への取り組みを行っていきます。

また、今年度はケアマネジャーの増員を果たし常勤5名体制を実現し、さらに主任ケアマネジャー4名の体制を確立することができました。働きやすく働き甲斐のある職場環境づくりにより職員の定着や増員が図られているものと評価します。

令和4年度部門方針「地域に選ばれる対応力のある事業所へ」

1) 取り組み課題：質の高いケアマネジメントの実現

### ①ケアマネジメントの資質向上の為の会議及び研修等の実施

取り組み内容	評価
定期的・計画的な会議開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶困難ケースを中心に月1回の事例を用いたスーパービジョンを実施した。多面的総合的に利用者像を深堀していくことで、ケアマネ自身の気づきを促し、アセスメント力向上に効果が見られた。</li> <li>▶ケアマネジメントの質の向上を目的とした定期会議を週1回開催した。新規および支援状況の共有が特に必要である利用者について情報を適時共有することで利用者対応が円滑に行えた。</li> </ul>
計画的な研修参加（外部研修）	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶主任介護支援専門員及び主任介護支援専門員研修に各1名参加し修了した。主任ケアマネジャー4名体制となる。</li> <li>▶コロナ禍で対面研修の機会が徐々に増えている。地域包括支援センター及び地域の職能団体主催の研修に積極的に参加した。短時間のインターネットを介しての研修には随時積極的に参加し、部事業所内で共有を行った。</li> <li>▶他法人の運営する居宅介護支援事業所(4事業所)との合同研修会として事例発表をzoomにて実施した。</li> </ul>
強化すべき項目についての研修（内部研修）	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶医療知識難病、精神疾患、認知症等の医療知識やケアマネジメントの注意点等についての勉強会を開催し、情報共有を図った。</li> <li>▶高齢者虐待への見地を深め、虐待防止のための着眼点、留意点等を共有した。</li> </ul>

②利用者に適切なサービスが切れ目なく提供できるための取り組み

取り組み内容	評価
業務継続に向けた取り組み	感染症及び自然災害に対しての事業継続ガイドラインの整備及び研修・訓練等の実施を一部実施した。
地域包括ケアシステムの推進	特定事業所加算Ⅱの算定要件を満たす体制確保を実施。地域の介護支援専門員が不足する中、1名の増員を果たし常勤5人体制を確立し、地域との連携に努めた。

2)働きやすい職場環境づくりの推進

取り組み内容	評価
ケアマネジメント業務の効率化推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ケアマネジメントにおける様々な記録に対して業務の効率化を図ったことで、記録作業の短縮となった。</li> <li>▶コンプライアンスに基づき事業所ルール作りへの具体的な課題を確認できたため、次年度に明確化明文化を進めていき、働きやすい環境整備にもつなげていく。</li> </ul>
ケアマネジャー後方支援への取り組み	▶ケアプランチェックを実施した。必要な帳票が揃っているか記録とのすり合わせを行った。ケアプランの内容そのもののチェックには至らなかった。継続的に段階を踏んで精度を上げていく。
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶法定研修実習生の受け入れを行った。</li> <li>▶ケアマネジャー1名増員。初心者であるためOJT制度を活用しながら、事業所全体で育成を実施した。</li> <li>▶離職者0。職員の定着が図れている。</li> </ul>

2. 月別利用状況報告

1) 月別要介護契約登録数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約	4	3	7	2	4	5	8	7	5	5	6	5	60
契約終了	2	2	2	4	4	4	3	7	2	5	4	1	40
契約登録数	143	144	149	147	147	148	153	153	156	156	158	162	

①新規契約相談経由内訳

紹介元	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分変更			1					1			1		2
地域包括*	2	2	4	2	2	3	5	4	3	1	2	4	34
病院/老健			1		1		2	1			2		7
本人/家族	1		1			2		1	1	1		1	8



他事業所	1	1			1		1		1	3	1		9
合計	4	3	7	2	4	5	8	7	5	5	6	5	60

\*包括別： 阿蘇睦 8 件、高津緑が丘 14 件、大和田 6 件、八千代台 3 件、村上 3 件

②契約終了事由内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分変更													
死亡	2	1	1	2	3		2	5		4	4	1	25
長期入院		1											1
特養入所				1		2	1		1	1			6
老健入所				1				1					2
グループホーム入所													0
民間施設入所			1		1			1					3
転居						2							2
保険利用中止									1				1
合計	2	2	2	4	4	4	3	7	2	5	4	1	40

③要介護状態区別居宅介護支援費提出状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	43	42	46	45	44	47	48	52	52	52	50	50	571
要介護2	46	44	43	44	45	46	45	48	46	44	46	44	541
要介護3	20	22	23	23	24	23	25	23	23	26	28	29	289
要介護4	15	15	16	17	17	16	17	18	19	18	18	18	204
要介護5	11	12	13	11	11	11	11	10	11	12	11	12	136
合計	135	135	141	140	141	143	146	151	151	152	153	153	1741

前年度比の全体割合：要介護1、2の軽度者 64%⇒64%、3以上の中重度者 34.2%⇒36%

2) 加算取得状況 (請求月で換算)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回	4	5	7	2	4	5	9	8	7	7	5	4	67
入院時連携	4	2	2	2	2	2	3	1	2	5	2	3	30
退院退所	1	1	1	2	1	1	0	0	1	0	2	0	10
通院時連携	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ターミナル	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

## 令和4年度 ケアハウスガーデンライフ八千代の事業報告

### 1. 職員数（令和5年3月31日現在）

職種	人数	常勤/非常勤
施設長	1名	常勤1名（兼務）
生活相談員	1名	常勤1名
寮母（介護職員）	4名	常勤2名/非常勤2名

### 2. 入居者延べ人数

令和4年度上半期		令和4年度下半期	
4月	450名	10月	465名
5月	465名	11月	450名
6月	450名	12月	434名
7月	450名	1月	434名
8月	434名	2月	392名
9月	420名	3月	434名
小計	2,669名	小計	2,609名
		年間合計	5,278名

### 3. 入居者介護認定状況（令和5年3月31日現在）

・定員 15名 入居者数 14名（男性7名 女性7名）

介護認定	男性	女性	合計
未申請（自立）	0名	2名	2名
要支援1	0名	0名	0名
要支援2	1名	0名	1名
要介護1	3名	1名	4名
要介護2	1名	3名	3名
要介護3	1名	0名	1名
要介護4	0名	0名	0名
要介護5	0名	0名	0名
合計	6名	6名	11名

#### 4. サービス内容（令和5年3月31日現在）

##### ①月別送迎支援状況（延べ人数）

上半期		下半期	
4月	18名	10月	16名
5月	13名	11月	24名
6月	16名	12月	14名
7月	20名	1月	15名
8月	19名	2月	14名
9月	9名	3月	21名
小計	95名	小計	104名
		年間合計	199名

##### ②受診付き添い介助

自立	4名
付き添い介助	10名

##### ③クラブ活動参加状況

内容	担当	実施回数	平均参加者数
リズム体操	職員1名	毎週1回	6名
音読	職員1名	毎週1回	5名
カラオケ	職員1名	毎月1回	1～2名

##### ④行事・余暇活動状況

月	活動内容	参加者数
4月	外食「おおとね」・「むさし」	10名
5月	外食「カニ甲羅」	11名
6月	外食「とんかつ坂井」	10名
		0名
7月	無し	0名
		0名

8月	スイーツ「よこやま」	9名
		0名
9月	・敬老の日のお祝い	13名
		0名
		0名
10月	外食「むさし」	9名
		0名
11月	外食「一幸」	7名
12月	・クリスマス会	13名
		0名
1月	・新年会	14名
		0名
2月	苑長屋台「醤油ラーメン」	12名
3月	・ひなまつり	7名
	【お弁当企画】・カニ甲羅お花見弁当	14名
	苑長屋台「味噌ラーメン」	13名

#### 4. 苦情受付報告

- ・入浴の入り方や順番、組み合わせやカラオケ開催に関する苦情がありました。  
ご本人との話し合いの場を設定して、入浴については現状のままでご納得いただき、カラオケ開催は、新たなレクリエーション活動として行うこととなりました。

#### 5. 地域交流・慰問

団体名	日付	参加人数	内容
—	—	—	—

- ・特にありませんでした。

6. 入居者状況（令和5年3月31日現在）

①月別入退所状況（令和4年度）

	入所	退所	退所の理由				月初日人数
			死亡	入院	介護施設	その他	
4月							15名
5月							15名
6月							15名
7月		1名			1名		15名
8月							14名
9月	1名						14名
10月							15名
11月							15名
12月			1名				15名
1月							14名
2月							14名
3月							14名
計	1名	1名	1名	0名	1名	0名	—

②年齢構成状況

年齢区分	男性	女性	合計
60歳未満	0名	0名	0名
60～64	0名	0名	0名
65～69	0名	0名	0名
70～74	0名	0名	0名
75～80	1名	2名	3名
81～84	2名	0名	2名
85～90	2名	4名	6名
90歳以上	2名	2名	5名
合計	7名	8名	15名

- ・最高年齢 男性 95歳 女性 94歳
- ・最低年齢 男性 80歳 女性 76歳
- ・平均年齢 男性 87歳 女性 87歳 総合平均年齢 87歳

③ADL等の状況

在宅サービス利用者	訪問介護	7名
	通所介護	7名
	訪問歯科	3名
移動（一部重複）	自立	10名
	杖使用	0名
	シルバーカー	4名
入浴	自立	7名
	一部介助（訪問・通所介護）	7名
着脱衣	自立	13名
	一部介助	1名
食事	ご飯と常食にて自立	12名
	ご飯ときざみにて自立	1名
	お粥ときざみにて自立	1名
洗面	自立	14名
金銭管理	自立	12名
	一部介助（銀行関係）	0名
	家族管理	1名
居室清掃	自立	10名
	介助（ヘルパー利用等）	4名
洗濯	自立	10名
	介助（ヘルパー利用等）	4名
買い物	自立	10名
	一部介助（家族、職員付き添い）	4名
	不可	0名
通院（一部重複）	自立	6名
	送迎介助（職員）	3名
	送迎・付き添い介助（職員）	7名
服薬管理	自立	7名
	一部介助	6名

## 令和4年度 愛生苑デイサービスかがやき 事業報告書

### 活動・外出報告

4 月	施設内活動	手芸・工作・壁面・折り紙・脳トレ・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
5 月	施設内活動	手芸・工作・壁面・ゲーム・折り紙・体操・脳トレ・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
6 月	施設内活動	手芸・工作・壁面・ゲーム・脳トレ体操・折り紙・おとなの学校
	行事企画	ソフトクリーム
	外出行事	無し
7 月	施設内活動	手芸・工作・壁面・絵手紙・ゲーム・折り紙・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
8 月	施設内活動	手芸・工作・壁面・ゲーム・脳トレ・折り紙・おとなの学校
	外出行事	無し
9 月	施設内活動	手芸・工作・壁面・ゲーム・折り紙・おとなの学校・
	外出行事	無し
10 月	施設内活動	手芸・工作・壁面・脳トレ・折り紙・ゲーム・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
11 月	施設内活動	手芸・工作・壁面・ゲーム・脳トレ・折り紙・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
12 月	施設内活動	手芸・工作・壁面・ゲーム・折り紙・脳トレ・おとなの学校
	行事企画	クリスマス会

1月	施設内活動	手芸・工作・壁面・ゲーム・脳トレ・折り紙・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
2月	施設内活動	手芸・工作・壁面・脳トレ・折り紙・体操・おとなの学校
	行事企画	豆まき
	外出行事	無し
3月	施設内活動	手芸・工作・壁面・ゲーム・脳トレ・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	お花見ドライブ

#### 年間会議

4月	かがやき会議	10月	かがやき会議
5月	かがやき会議	11月	かがやき会議
6月	かがやき会議	12月	かがやき会議
7月	かがやき会議	1月	かがやき会議
8月	かがやき会議	2月	かがやき会議
9月	かがやき会議	3月	かがやき会議

#### 委員会活動・勉強会

6月	感染症委員会	食中毒予防について
8月	虐待防止委員会	方針の確認
11月	感染症委員会	新型コロナウイルス感染対策の確認



## 消防避難訓練

6月	令和4年6月22日(水) 14時～14時30分 職員9名・ご利用者名合15 計24名で行った。 避難訓練(調理場から出火の想定で、ご利用者の避難誘導を行った。) 通報訓練(119番通報) 消火訓練(水消火器を使い初期消火訓練を行った。)
11月	令和4年11月21日(月) 14時～14時30分 職員9名・ご利用者21名合計30名で行った。 避難訓練(調理場から出火の想定で、ご利用者の避難誘導を行った。) 通報訓練(119番通報) 消火訓練(水消火器を使い初期消火訓練を行った。)

## 実人数・延べ人数実績

月	実人数	延人数	月	実人数	延人数
4月	46名	448	10月	58名	564
5月	47名	456	11月	56名	546
6月	49名	473	12月	55名	567
7月	51名	502	1月	53名	444
8月	48名	467	2月	56名	492
9月	54名	530	3月	59名	554

令和4年度延人数合計 6,043名

## 総評

- 活動については、昨年度に続き新型コロナウイルスの感染予防のためボランティアの活動を年間通じて中止した。外出行事は3月からドライブという形で再開した。  
次年度は新型コロナウイルスの動向をみながらボランティア活動を再開していく。
- 感染症委員会では、6月には食中毒の種類から食中毒を増やさないための対応方法を確認した。11月には新型コロナウイルスに自分が感染した場合と、家族に感染者が出た場合の対応方法について確認をした。  
新しく虐待防止委員会を立ち上げた。会議は年1回行い必要時にも開催していく。
- 消防訓練を行い、火災発生時の職員の役割を確認した。消防訓練事に役割を変更して、どの職員でも対応できるように今後も訓練を行っていく。

# 令和4年度 グループホームなごみ 事業報告書

## 1. 事業所名

グループホームなごみ  
(認知症対応型共同生活介護)

## 2. 職員数 (年度末時点)

管理者 常勤職員 1名 (小規模多機能居宅介護と兼務)  
計画作成担当者 常勤職員 2名 (介護職員と兼務。内、介護支援専門員は1名)  
介護職員 常勤職員 9名  
非常勤職員 4名  
事務員 非常勤職員 1名

合計 17名

## 3. 年間利用実績

要介護度別入居実人数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	2	6	7	2	1
5月	2	6	6	3	1
6月	1	7	6	3	1
7月	1	6	6	3	1
8月	1	6	6	4	1
9月	1	6	5	4	2
10月	1	6	5	4	2
11月	0	6	6	4	2
12月	0	6	4	4	4
1月	0	5	5	4	3
2月	0	4	6	4	3
3月	1	4	6	4	2
合計	10	68	68	43	23

単位：人

要介護度別入居延べ人数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	60	180	210	60	30
5月	62	186	186	93	31
6月	30	201	180	90	30
7月	31	186	186	93	31
8月	31	186	172	124	31
9月	30	180	150	120	60
10月	31	186	155	124	62
11月	0	180	180	119	60
12月	0	169	124	124	118
1月	0	155	155	124	93
2月	0	112	168	112	65
3月	4	124	186	95	62
合計	279	2045	2052	1278	673

単位：人

4. 会議実施内容

- 4月＝委員会・担当決め、ケアカンファレンス
- 5月＝身体拘束防止勉強会、ケアカンファレンス
- 6月＝面会再開に当たって、ケアカンファレンス
- 7月＝食中毒・環境整備に関して、ケアカンファレンス
- 8月＝居室清掃の件、ケアカンファレンス
- 9月＝※新型コロナウイルス感染発生のため中止
- 10月＝コロナ対応の振り返り
- 11月＝実習生受け入れの件、ケアカンファレンス
- 12月＝クリスマス会の件、ケアカンファレンス
- 1月＝次年度予算、ケアカンファレンス
- 2月＝インフルエンザ予防含め感染症の件、ケアカンファレンス
- 3月＝いちご狩りの件、ケアカンファレンス

5. 実習生受け入れ

大原医療秘書福祉専門学校より第一段階2名受け入れ

実習期間 11月7日～11月28日

実習日数 15日間ずつ（小規模多機能と合計）

《実習内容》

コミュニケーション、入浴・排泄介助、口腔ケア、レクリエーション実践など

## 6. 運営推進会議

構成員～民生児童委員、高津緑が丘地域包括支援センター、他施設管理者  
八千代市介護保険相談員、家族代表、愛生会職員

《開催状況》

- 第1回 新型コロナウイルスの感染拡大予防のため中止
- 第2回 7月21日 活動内容報告、感染症対策など
- 第3回 なごみ内での新型コロナウイルス集団感染発生により中止
- 第4回 11月17日 活動内容報告、新型コロナウイルス集団感染の報告など
- 第5回 1月19日 活動内容報告、小規模多機能自己評価など
- 第6回 3月16日 活動内容報告、感染対策の緩和の動きなど

前年度は新型コロナウイルス感染状況により、中止が続いていたが、徐々に実施。  
他施設職員との相互出席も実施している。

## 7. レク活動実施内容

《定例》

ボランティア活動⇒新型コロナウイルス感染症の影響にて、受け入れ停止  
職員活動⇒船橋オレンジ体操、誕生日会、母・父の日レク、園芸活動など

《地域交流》

- ・RUN伴（動画による参加）
- ・町内会清掃参加

《年間行事》

- ・秋祭り、クリスマス会、敬老会（小規模多機能の合同開催だが、フロアごとに行う）
- ・花見、誕生日会、忘年会、いちご狩り外出

## 8. その他

- 令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対応に注力しながらの業務が中心となった。

なごみ内での感染状況

9月にグループホーム内で集団感染発生

感染者数 入居者7名（内、2名入院） 2名とも翌月退院

職員5名

面会対応

前年度は面会禁止措置を取っていたが、窓越し面会で再開。秋以降は短時間での対面面会も実施。

- 年度末にいちご狩り実施

新型コロナ感染症発生以後、実施が途絶えていた外出行事を久しぶりに行うことができ、職員の意識も前向きに変化してきている。

新型コロナウイルスの状況が徐々に落ち着き始めているのを受け、令和5年度から以前のサービス形態に戻していく計画をしている。

# 令和4年度 小規模多機能居宅介護なごみ 事業報告書

## 1. 事業所名

小規模多機能居宅介護なごみ  
(小規模多機能型居宅介護)

## 2. 職員数 (年度末時点)

管理者 常勤職員 1名 (認知症対応型共同生活介護と兼務)  
介護支援専門員 常勤職員 1名  
介護職員 常勤職員 8名  
非常勤職員 5名  
看護師 非常勤職員 1名  
運転手 非常勤職員 2名  
調理員 非常勤職員 1名

合計 19名

## 3. 年間利用実績

サービス別・月別延べ利用者数

	通い	宿泊	訪問	合計
4月	335	83	357	775
5月	365	86	368	819
6月	387	91	376	853
7月	384	99	391	874
8月	391	121	332	844
9月	245	60	351	656
10月	343	85	345	773
11月	351	91	353	795
12月	326	85	362	773
1月	317	88	331	736
2月	327	94	361	782
3月	380	110	340	830
合計	4151	1093	4267	9510
1日平均	11.4	3.0	11.7	26.0

単位：人

要介護度別登録者数

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4月	0	1	6	13	3	1	1	25
5月	0	1	7	12	4	1	1	26
6月	0	1	9	11	4	1	1	27
7月	0	1	9	10	4	2	1	27
8月	0	1	8	10	4	2	1	26
9月	0	1	9	9	4	2	0	25
10月	0	1	9	9	4	1	0	24
11月	0	1	10	8	5	1	0	25
12月	0	1	10	7	5	0	0	23
1月	1	1	10	7	5	0	0	24
2月	0	1	11	7	4	0	2	25
3月	0	1	11	6	5	0	1	24

単位：人

4. 会議実施内容

- 4月＝申し送り体制、訪問業務の見直し カンファレンス など
- 6月＝感染予防、業務見直し、カンファレンス など
- 8月＝秋祭りについて、iPad 導入、カンファレンス など
- 10月＝コロナ対応の振り返り、実習受け入れ、カンファレンス など
- 11月＝BCPの勉強会、書式変更後の問題点、カンファレンス など
- 12月＝感染症対策、訪問サービス基準、カンファレンス など
- 1月＝2便送迎業務の見直し、カンファレンス など
- 3月＝会議活性化策、カンファレンス など

5. 実習生受け入れ

- 大原医療秘書福祉専門学校より第一段階2名受け入れ
- 実習日数 15日間ずつ（グループホームと合計）
- 《実習内容》
- コミュニケーション、入浴・排泄介助、口腔ケア、レクリエーション実践など

6. 運営推進会議

- 構成員～民生児童委員、高津緑が丘地域包括支援センター、他施設管理者
- 八千代市介護保険相談員、家族代表、愛生会職員

#### 《開催状況》

- 第1回 新型コロナウイルスの感染拡大予防のため中止
- 第2回 7月21日 活動内容報告、感染症対策など
- 第3回 なごみ内での新型コロナウイルス集団感染発生により中止
- 第4回 11月17日 活動内容報告、新型コロナウイルス集団感染の報告など
- 第5回 1月19日 活動内容報告、小規模多機能自己評価など
- 第6回 3月16日 活動内容報告、感染対策の緩和の動きなど

前年度は新型コロナウイルス感染状況により、中止が続いていたが、徐々に実施。他施設職員との相互出席も実施している。

#### 7. レク活動実施内容

##### 《定例》

- ボランティア活動⇒新型コロナウイルス感染症の影響にて、受け入れ停止
- 職員活動⇒ボーリング、卓球、工作、ドライブ、散歩、脳トレレクなど

##### 《地域交流》

- ・RUN伴（動画による参加）

##### 《年間行事》

- ・秋祭り、クリスマス会、敬老会（グループホームとの合同開催だが、フロアごとに行う）
- ・花見、誕生日

#### 8. その他

- ・令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対応に注力しながらの業務が中心となった。  
なごみ内での感染状況
  - ・9月にグループホーム内で集団感染発生  
感染者数 入居者7名（内、2名入院）  
職員5名
  - ・12月、1月に1名ずつ職員の感染あるが、拡大はしなかった。

感染症の落ち着きや第5類移行を踏まえ、令和5年度から徐々に以前のサービスに戻していく。



## 令和4年度 八千代市村上地域包括支援センター愛生苑 事業報告書

### 1. 総合相談業務

相談件数・内訳

区分	項目	新規受付件数	対応延べ件数	
相談対応方法	電話	502	4378	
	来所	235	537	
	訪問	4	622	
	その他(FAX・メール)	1	60	
	合計	742	5597	
相談内容	権利擁護	消費者被害に関する相談	5	12
		成年後見制度に関する相談	9	50
		日常生活自立支援事業に関する相談	3	12
	介護	介護に関する相談	264	1418
		介護保険制度に関する相談	288	1311
		施設入所に関する相談	43	128
		介護離職に関する相談	1	7
		ダブルケア(介護+子育て)に関する相談	1	2
		福祉サービスに関する相談	49	555
	ケアマネ支援	ケースに関する相談	34	741
		地域資源に関する相談	5	25
		経済的相談	12	163
		介護予防事業に関する相談	5	55
		医療・健康に関する相談	161	1015
		認知症に関する相談	76	489
		書類説明・管理に関する相談	16	128
		安否・状況確認に関する相談	26	188
		地域生活に関する相談	41	198
		その他	72	514
		小計	1111	7011
相談者	本人	200	1690	

家族	300	1538
成年後見人	3	1
民生委員	13	74
近隣住民・知人	36	53
商店・民間サービス業者・ボランティア(介護保険外)	21	149
住宅の管理者・大家・管理会社	7	80
介護支援専門員	44	939
介護保険サービス事業者	9	368
医療関係者	47	448
行政機関	40	206
警察	13	30
消防	1	5
その他	8	16
合計	742	5597

※受付件数は令和4年度での新規受付の実数。

※継続延べ件数は当センターからの連絡等も1件と計上。

## 2. 権利擁護業務

### ① 高齢者虐待防止・権利擁護に対する取り組み

月日	実施主体	事項	目的			
			包括P R	虐待防 止	認知症 サポータ ー	他機 関連 携
令和4年4月 ～令和5年3月	村上地区民生児 童委員連絡協 議会	定例会(10回)	○	○		○
令和4年4月 ～令和5年3月	村上東地区民生 児童委員連絡協 議会	定例会(10回)	○	○		○
令和4年4月 ～令和5年3月	上高野支会	定例会(10回)	○	○		○
令和4年4月 ～令和5年3月	村上支会	定例会(10回)	○	○		○
4月11日 10月12日	村上地域包括支 援センター	村上地域包括支援センターパンフレット・高齢者虐待防止 パンフレットの設置(ヨークマート八千代村上店)	○	○		○



令和4年4月～令和5年3月	村上地区 民生児童 委員連絡 協議会	定例会(10回)	○	○		○			民生児童委員との顔の見える関係作りを行う。個別ケースの発掘、継続支援についても多大なるご協力を頂いている。地域課題の抽出にもつながっている。
令和4年4月～令和5年3月	村上東地区 民生児童 委員連絡 協議会	定例会(10回)	○	○		○			民生児童委員との顔の見える関係作りを行う。個別ケースの発掘、継続支援についても多大なるご協力を頂いている。地域課題の抽出にもつながっている。
令和4年4月～令和5年3月	上高野支会	定例会(10回)	○	○		○			福祉委員を通し、地域住民に対し社会資源など情報提供を行っている。顔の見える関係も出来、福祉委員を通してのケース相談や地域課題の抽出にもつながっている。
令和4年4月～令和5年3月	村上支会	定例会(10回)	○	○		○			福祉委員を通し、地域住民に対し社会資源など情報提供を行っている。顔の見える関係も出来、福祉委員を通してのケース相談や地域課題の抽出にもつながっている。
4月・6月 9月・12月	村上地域 包括支援センター	健康コラムの作成および配布 (圏域内居宅介護支援事業所) (一部業務委託居宅介護支援事業所)	○					地域住民の健康意識の向上。	季節ごとに気をつけてもらいたい情報の周知を行っている。地域のケアマネジャーから話のきっかけになると意見をもらっており、高齢者の健康意識の向上につながっている。
5月9日 7月12日 9月12日 11月14日 1月9日 3月13日	特別養護 老人ホーム むらかみの郷	運営推進 会議 (全て書面 会議)				○		施設・の健全な運営、入居者の快適で充実した生活の実現。	施設の現状、活動内容、取り組みを把握した。

5月16日 7月25日 9月26日 11月21日 1月16日 3月20日	小規模多 機能ホーム アゼリアガ ーデン	運営推進 会議の出席				○	事業所の健全な運 営、利用者の充実し た生活の実現。	事業所の現状、年間計画や活動 内容、取り組みを把握した。会議 にて意見交換することにより、利 用者の生活の質の向上に繋がると 期待できる。
6月25日	興寿会わい わいサロン	地域包括 支援センタ ーについての 周知	○				地域包括支援セン ターの業務内容に ついて案内	地域包括支援センターについて 改めて説明。何かあった時には 気軽に相談してほしいと伝える。 包括周知の場としてよい機会とな った。
6月 28,29,30日	八千代東 高校	社会福祉 協議会福 祉教育	○			○	高齢になると起きる 心身の変化につい ての講義と、疑似体 験の実施	八千代東高校3年生の1クラス を除いた全クラスに実施。疑似体 験を通じて、身体的な不便さなど 経験することで、自分たちができ ることを考えてもらえる機会にな った。
7月5日	村上北小 学校	社会福祉 協議会福 祉教育	○			○	車いす体験の補助 及び車いすの扱い について説明	子どもたちが、車いすの体験を通 じて、他者への思いやりなどにも 気づけた様子があり、今後の社 会貢献等への発展に期待ができ る。
7月14日	村上小学 校	社会福祉 協議会福 祉教育	○			○	車いす体験の補助 及び車いすの扱い について説明	子どもたちが、車いすの体験を通 じて、他者への思いやりなどにも 気づけた様子があり、今後の社 会貢献等への発展に期待ができ る。
7月28日	モーニング サロン	健康教室				○	秀明大学学生によ る、高齢者の自殺に ついての健康教室 を実施	今年度のまちの保健室開催に向 けての特別回。学生が行うことに 温かく参加して下さる方が多く あった。今後の月1回のまちの 保健室開催に向けてよい出だし となった。
9月21日 3月15日	定期巡回・ 随時対応 型訪問介	運営推進 会議(書面 会議)				○	事業所の健全な運 営、利用者の充実し た生活の実現。	事業所の現状、年間計画や活動 内容、取り組みを把握した。

護看護むら かみの郷									
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

②介護支援専門員等に対する個別支援

実施種別	実施の有無	
	有	無
相談窓口	有	無
支援困難事例を抱える介護支援専門員への対応	有	無
個別事例に対するサービス担当者会議開催支援	有	無
質の向上のための研修	有	無
ケアプラン作成指導等を通じた介護支援専門員のケアマネジメント指導	有	無
介護支援専門員同士のネットワーク構築	有	無
介護支援専門員に対する情報支援	有	無
ケアプランの趣旨に基づいてサービスが提供されるよう、居宅サービス事業所 への研修等の働きかけ	有	無
その他(具体的内容を簡潔に記載)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年7月13日 第1回 八千代市地域包括支援センター主催研修会 「介護予防・重度化防止に資するケアマネジメント」</li> <li>・令和4年12月15日 第2回 八千代市地域包括支援センター主催研修会 「認知症についての基礎知識」・パネルディスカッション「8050問題について」</li> </ul>		

③地域ケア会議開催実績

日にち	事項	テーマ	効果
5月2日	地域ケア個別会議	認知症を患っている独居高齢者について、地域での見守りについて話し合いを行う。	担当介護支援専門員、担当民生委員、生活支援コーディネーターと情報共有、見守り体制の確認が行え、高齢者の変わらぬ生活が維持できることとなった。
7月25日	八千代市地域ケア会議	自立支援、介護予防に関する事例検討。	多職種からの助言、視点を得られる機会となる他、顔の見える関係となることで、医療・介護連携が深められている。
9月26日	八千代市地域ケア会議	自立支援、介護予防に関する事例検討。	多職種からの助言、視点を得られる機会となる他、顔の見える関係となることで、医療・介護連携が深められている。

11月2日	地域ケア個別会議	透析、認知症のある独居の男性の地域での見守りについて話し合いを行う。	これまでも地域での暖かい見守りがあったこと、今後もさらに継続した見守りを確認したのと、連絡体制もとれたことで、男性の変わらぬ生活が維持できることとなった。
11月14日	八千代市地域ケア会議	自立支援、介護予防に関する事例検討。	多職種からの助言、視点を得られる機会となる他、顔の見える関係となることで、医療・介護連携が深められている。

#### 4. 介護予防普及啓発事業（いきいき教室の開催）

日時	参加人数	場所	テーマ・内容
6月17日 6月20日	7名 7名	村上公民館	テーマ： 運動機能向上 認知症予防
6月28日 6月30日	9名 7名	台町公園	内容： 運動の必要性について学ぶ 運動習慣による身体的効果について学ぶ
7月4日 7月7日	6名 2名	栄町公会堂	認知症について理解し、予防することを学ぶ
7月12日 7月14日	9名 6名	上高野原連合自治会館	
10月11日 10月18日	12名 9名	台町公園	テーマ： 運動機能向上 栄養改善
10月17日 10月19日	11名 10名	村上公民館	内容： 低栄養状態によって起こる問題について学ぶ
11月1日 11月2日	9名 9名	興和台クラブ 21	長寿地域における食事法から健康な食事法について学ぶ チェック表を利用し多品目の食事をとる重要性を学ぶ
11月8日 11月10日	13名 12名	上高野原連合自治会館	介護予防における運動の重要性を学ぶ 歩行と筋力トレーニングの具体的な方法について学ぶ 実際に運動を行い、ポイントやコツについて学ぶ

#### 5. 認知症地域支援推進員業務

月日	実施内容
毎月1回程度	八千代市認知症地域支援推進員会議出席
年8回	介護予防教室にてコグニサイズを実施

6月9日	認知症サポーター養成講座開催(村上東民生委員・児童委員協議会)
6月22日 12月16日	認知症初期集中支援チームとの連携強化意見交換会
6月24日	認知症サポーター養成講座開催(地域のサロン・元気体操グループ向け)
7月20日	認知症サポーター養成講座開催(元気体操グループ向け)
7月27日 11月30日	認知症家族交流会開催(市内包括共催)
9月	アルツハイマーデーに伴い、オレンジ色のTシャツを着用し活動
9月10日	アルツハイマーデーに伴う八千代中央図書館での展示・認知症予防についての講座開催
9月21日	認知症疾患医療センターと市内包括の共同主催にて認知症予防講座開催
10月13日 10月20日	認知症ステップアップ講座
11月17日	認知症サポーター養成講座開催(小学校児童向け)
11月28日	認知症サポーター養成講座開催(一般(成人)向け)
その他	認知症に対する相談対応・関係機関へのつなぎ

※認知症関連個別相談は総合相談実績に含む。

## 6. 第2層生活支援コーディネーター業務

日付	活動実績
通年	個別相談支援(社会資源における相談対応等)
通年	村上・村上東民生委員児童委員協議会出席 (包括的継続的ケアマネジメント実績参照)
通年	上高野原支会出席(包括的継続的ケアマネジメント実績参照)
通年	村上支会出席(包括的継続的ケアマネジメント実績参照)
通年	にないて 定例会出席
隔月	八千代市生活支援コーディネーター会議
4月1日	緑寿会体操補助(1日、15日)
4月12日	UR、秀明大学、村上包括顔合わせ
4月28日	ローズマリー(体操グループ)訪問
5月6日	モーニングサロン訪問(6日、10日)
5月9日	地域ケア個別会議



5月11日	オパール(体操グループ)訪問
5月17日	かたくり会にて『将来に備えて』講義
5月18日	アゼリアガーデンにてウォーキングスタンプラリー打ち合わせ
5月19日	年金サロン(体操グループ)訪問
5月20日	緑寿会体操補助
5月25日	大野台体操グループ訪問
6月2日	モーニングサロン訪問
6月3日	緑寿会体操補助(3日、17日)
6月6日	けやき(体操グループ)訪問
6月10日	いちょうの会(体操グループ)訪問
6月21日	秀明大学伊藤教授の講義
6月22日	オパール(体操グループ)訪問
6月24日	地域活動グループ向け認知症サポーター養成講座
6月25日	わいわいサロンにて講義
6月28日	八千代東高校福祉教育(28日、29日、30日)
7月5日	村上北小学校福祉教育(実習生同行)
7月6日	大野台げんき体操グループ訪問(実習生同行)
7月8日	緑寿会体操フォロー
7月14日	村上小学校福祉教育
7月20日	大野台げんき体操グループ向け認知症サポーター養成講座
7月20日	オパールげんき体操グループ訪問(実習生同行)
7月28日	モーニングサロンにて秀明大学学生による健康教室開催
9月26日	オパールげんき体操グループ訪問
9月28日	モーニングサロンにて秀明大学とのまちの保健室開催
9月30日	緑寿会体操フォロー
10月20日	担い手養成講座
10月26日	モーニングサロンにて秀明大学とのまちの保健室開催
11月2日	個別地域ケア会議
11月14日	八千代市地域ケア会議 SCとして参加
11月25日	モーニングサロンにて秀明大学とのまちの保健室開催
12月20日	モーニングサロンにて村上包括主催まちの保健室開催

1月5日	カスミ移動販売状況確認
1月19日	カスミ移動販売状況確認
1月30日	モーニングサロンにて秀明大学とのまちの保健室開催
2月1日	生活支援コーディネーター研修
2月10日	モーニングサロン訪問
2月13日	体操グループオパールにて講座
2月24日	担い手養成講座
2月28日	モーニングサロンにて秀明大学とのまちの保健室開催
3月14日	村上東小学校まちづくり発表
3月22日	村上圏域第1回協議体会議

## 7. 指定介護予防支援、介護予防ケアマネジメント

### ①介護予防支援給付管理実績（月遅れ請求分は請求月に含む）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付管理件数	95	100	96	100	98	97	92	97	100	102	96	102	1175
内 包括分	39	43	40	44	40	44	42	43	44	46	41	44	510
内 委託分	56	57	56	56	58	53	50	54	56	56	55	58	665

### ②介護予防ケアマネジメント給付管理実績（月遅れ請求分は請求月に含む）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付管理件数	101	99	102	95	92	101	101	111	107	106	108	106	1229
内 包括分	40	39	39	34	36	43	41	51	47	44	42	42	498
内 委託分	61	60	63	61	56	58	60	60	60	62	66	64	731

③介護予防支援、介護予防ケアマネジメント実務数（センター担当分）

a. 介護予防支援サービス計画作成数

新規	再作成	合計
42	76	118

b. 訪問対応件数

実数	延数
135	693

c. 電話・来所対応件数

電話	ケースに関連する内容	3805
	ケース以外の内容	55
来所	ケースに関連する内容	205
	ケース以外の内容	22

④介護予防支援、介護予防ケアマネジメント一部業務委託先一覧

介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント 一部業務委託事業所（順不同）	
グリーンヒル指定居宅介護支援事業所	ヤックスケアプラン大和田
セントマーガレット病院	ほっとケア和
NPO法人 ユーアイやちよ勝田台	ケアプラン相談所・元気庵八千代店
勝田台病院	コープみらい高津介護センター
在宅介護支援センター愛生苑	マイミーケアサービス
ライフパートナー居宅介護支援事業所	在宅介護支援センター八千代城
勝田台ケアセンターそよ風	ケイワ介護サービス
在宅介護支援センター美香苑	スマイル(合同会社ネクスト・ワン)
あすなる介護サービス	ケースマネジメントオフィス スマイルリンク
居宅介護支援事業所オーケーサービス	居宅介護支援事業所グリーンケア
ういず・ユウ介護プラン相談所 支え愛	大和田訪問看護ステーション
ケアサービス伊東 てまり営業所	ういず・ユウ支え愛志津居宅介護支援事業所
指定居宅介護支援事業所ほうゆうの里	介護屋みらい船橋店
癒しのケアプランセンター志津居宅介護支援事業所	ケアプラン ソイシア
居宅介護支援事業所はにーびい	イリーゼ八千代緑が丘居宅介護支援事業所

※令和4年度中に給付管理を行なった居宅介護支援事業所

## 8. 研修参加

日にち	研修名	参加者
4月15日 4月21日	やちよケアマネネットワーク研修会	主任介護支援専門員
7月13日	八千代市地域包括支援センター主催 ケアマネジメント研修	主任介護支援専門員 保健師
5月2日～8月5日	令和4年度千葉県介護支援専門員研修 専門研修過程Ⅰ・更新研修前期	社会福祉士
8月10日	普通救命講習Ⅰ	看護師
8月6日～10月7日	令和4年度千葉県主任介護支援専門員研修	主任介護支援専門員
9月14日	令和4年度千葉県地域包括支援センター職員 初任者研修	保健師
9月21日	世界アルツハイマーデー記念公演 認知症予防講演会	認知症地域支援推進員
11月15日	やちよケアマネネットワーク研修会	主任介護支援専門員
11月25日	令和4年度千葉県地域包括支援センター職員 現任者研修	保健師
12月9日	令和4年度 第2回 千葉県キャラバンメイト養成研修	保健師
12月15日	八千代市地域包括支援センター主催ケアマネジメント研修	主任介護支援専門員 保健師
2月1日	生活支援コーディネーター圏域別情報交換会	生活支援コーディネーター
2月7日	令和4年度 千葉県認知症施策推進セミナー	認知症地域支援推進員
3月7日	令和4年度 認知症疾患医療センター研修会	社会福祉士 介護支援専門員
3月10日	八千代市介護サービス事業者協議会研修	保健師
3月18日	NPO 法人やちけあ認定 第2回看取りケア研修会	社会福祉士2名

## 9. 会議参加

日にち	会議名	出席者
毎月1回	八千代市地域包括支援センター管理者会議	センター長

毎月1回	八千代市地域包括支援センター包括的・継続的ケアマネジメント会議	主任介護支援専門員
毎月1回	八千代市地域包括支援センター権利擁護会議	社会福祉士
毎月1回	八千代市地域包括支援センター介護予防関連会議	保健師等
2月9日	八千代市地域包括支援センター運営協議会	センター長
毎月1回	村上地域包括支援センター課内会議	全職員
毎月1回	村上地域包括支援センターケース会議	3職種職員

※その他、地域関係者との会議については包括的・継続的ケアマネジメント欄に記載。